



“音楽都市こおりやま” 市民音楽祭主催行事
親子のためのコンサート



音楽の絵本

おんがくのえほん



●演奏予定曲目●
展覧会の絵より
天空の城ラピュタメドレー
山の音楽家コンチェルト
虹の彼方に
オーラ・リー
おもちゃメドレー
みんなのリクエスト
一週間の歌
シンフォニックアニマル 他

※曲目は変更になる場合があります。

令和4年 1月 22日(土)

けんしん郡山文化センター
(郡山市民文化センター) 中ホール

【午前の部】 開場: 午前10時00分 / 開演: 午前10時30分
【午後の部】 開場: 午後 1時30分 / 開演: 午後 2時00分

入場料 (全席指定・税込)

一般 2,000 円
こども (小学生以下) 500 円
車椅子席 各半額

【みゅーあい郡山会員価格 一般 1,500 円 こども 300 円】

※新型コロナウイルス感染症予防のため、組席で前後左右に間隔を空けて販売しますので通常より少ない座席数となります。
マスクの着用など感染拡大防止のご協力をお願いします。
☆4歳未満のお子様であってもお席が必要な場合は、入場券をお買い求めください。
☆車椅子席は、けんしん郡山文化センターのみで取り扱います。
☆当日はベビーカーお預かりサービスがあります。

《プレイガイド》

うすい百貨店 (5階プレイガイド)

けんしん郡山文化センター (1/7 まで電話予約のみ) ※1/8 ~ 窓口販売開始

みゅーあい郡山 (郡山市勤労者互助会 ※会員限定販売)

※プレイガイドによって販売開始時刻は異なります。
※みゅーあい郡山の発売日は、会員に直接連絡いたします。
※電話予約は、けんしん郡山文化センターのみの受付となります。
※11月13日(土)の電話予約は、座席指定はお受けできません。
席数のみの予約となります。予めご了承ください。
※お電話でご予約いただいたチケットのお取り置き期間は10日間です。
10日以内にこま館にたたくか、お手数でも現金書留にて送金願います。

※けんしん郡山文化センターには駐車場がございませんので、バス・タクシー等の交通機関をご利用ください。

現金書留送付先

〒963-8878 福島県郡山市堤下町1番2号
けんしん郡山文化センター「音楽の絵本」係

入場券発売日 11月13日(土) 午前9時~

※令和4年1月7日(金)までは、地震による災害復旧修繕のため臨時休館中となりますので、けんしん郡山文化センター窓口での直接販売はいたしません。電話予約をしたお客様のみの1階の管理事務室にて精算を行います。
(入場券の精算については、臨時休館中のため窓口までの経路などをご案内いたしますので、お手数ですが来館前にご予約ください。)

【新型コロナウイルス感染症拡大予防のお願い】
けんしん郡山文化センターの利用にあたっては、「新しい生活様式」を踏まえ、感染拡大予防のご協力をお願いいたします。
●人との間隔を空け、身体的距離の確保をお願いいたします。
●マスク着用を含む「せきエチケット」にご協力ください。
●こまめな「手洗い」や「手指消毒」をお願いいたします。
●当日は検温し、ワクチン接種後であっても次の症状がある場合の来館はご遠慮ください。
・過去2週間以内に発熱(受診や服薬等により解熱している状態を含む)
・呼吸器症状(せき・くしゃみ等)がある方
・具合の悪い方
・感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある方



新型コロナウイルス
感染症予防に関する
取組について

お問合せ: けんしん郡山文化センター 024-934-2288

主催: 公益財団法人郡山市文化・学び振興公社 (郡山市民文化センター指定管理者)

後援: 福島民報社 / 福島民友新聞社 / 福島テレビ / 福島中央テレビ / 福島放送 / テレビユー福島 / ラジオ福島 / ふくしまFM / 郡山コミュニティ放送

けんしん郡山文化センター 検索
e-mail: kc-center@bunka-manabi.or.jp





Zoorasian Brass

ズーラシアンブラス 【金管五重奏】

まじめでしっかり者のオカビが、大好きな音楽で生きていこう、と決めたのは今から少し昔のことです。北極での演奏に限界を感じていたホッキョクグマと一緒に、世界のいろんな国をまわって、孤高のトランベッター・インドライオン、お調子者のスマトラトラを見つけ出しメンバーに誘います。噂を聞きつけたドックラングールが、ぼんやり眠ってばかりのマレーバクを誘ってオカビに会いに来ました。そうして結成されたのが金管五重奏ズーラシアンブラスなのです。



Tsuru-Usagi

弦うさぎ【弦楽四重奏】

うさぎの四姉妹の弦楽四重奏団それが弦うさぎです。上から、メグ、ジョー、ベス、エイミー。作曲家の父とバイオリニストをめざしていた母。その影響で小さい頃からクラシック音楽を聴いて育った四姉妹でしたが、父親が作曲の旅に出てしまい、母も一緒に世界各国をまわっているため、一年のほとんどは姉妹のみで生活しています。寂しさを紛らわそうと姉妹で始めた演奏会が街中で大評判。その息のあった演奏と幻想的な世界を紡ぎ出す音楽性に惹かれ、遠方から聴きに来る人々も絶えなくなったとか。かくして「弦うさぎ」弦楽四重奏団がうまれたのでした。